

文部科学省 研究拠点形成費等補助金事業
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

がん専門医療人を目指そう！

7大学連携個別化 がん医療実践者養成プラン

— Seven-University Joint Project —



 **近畿大学**
大学院医学研究科

 **近畿大学**
大学院薬学研究科

 **近畿大学**
大学院総合理工学研究科

 **大阪市立大学**
大学院医学研究科

 **神戸大学**
大学院医学研究科

 **関西医科大学**
大学院医学研究科

 **兵庫医科大学**
大学院医学研究科

 **大阪府立大学**
大学院看護学研究科

 **神戸市看護大学**
大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONAL）」養成プラン

【背景】

がんは、我が国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人が、がんにかかると推計されているなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっており、新たながん対策が求められています。

「今後のがん対策の方向性について」（平成27年6月）や、「がん対策加速化プラン」（平成27年12月）などにおいては、ゲノム医療の実用化に向けた取組の加速化、小児がん及び希少がん対策、AYA（Adolescent and Young Adult）世代や高齢者等のライフステージに応じたがん対策のほか、緩和ケアに関する教育の推進等が、新たなニーズとして求められています。

7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン

近畿圏の国公立7大学9学部の医学・看護学・薬学・理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人の養成を推進する「**7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン**」が文部科学省・平成29年度研究拠点形成費等補助金事業「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONAL）」養成プラン」に採択されました。

近年、多様化するがん医療において直面する新たなニーズや課題への対応が求められています。本プランでは、①ゲノム医療の実用化に向けた課題、②希少がん及び小児がんにおける課題、③異なるライフステージのがん患者に生じる特有の課題をテーマに掲げ、**3つのタスクフォース（ゲノム・サイエンス、教育イノベーション、マルチパートナーシップ・アライアンス）**が有機的に連携することによって、患者中心の個別化医療を実践できる多職種のがん専門医療人材の養成を目指します。

7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン



7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン



タスクフォース
1

ゲノム・サイエンス

遺伝カウンセラー養成を含めたがんゲノム医療の構築と連携大学間および産学官共同研究の推進

- ゲノム情報に基づくがんの個別化医療を実現するための基盤整備等
- 共同研究による「がんのゲノム情報に基づいたプレジジョン・メディシン※」の推進

※プレジジョン・メディシン(精密医療)：患者の個人レベルで最適な治療法を分析・選択すること



タスクフォース
2

教育イノベーション

個別化医療を実現するための革新的な教育プログラムの開発の促進

- 従来の講義にゲノム医療に基づく個別化医療、小児がん・希少がんの医療に必要なプログラムの充実と強化



タスクフォース
3

マルチパートナーシップ・アライアンス

地域医療機関、自治体・公的機関、各種職能団体、がんサバイバーを含む患者会、NPO法人等との連携・支援体制の強化

- 小児がん患者・家族に対する医療や支援の提供体制のさらなる強化
- AYA世代、壮年層、高齢者といったライフステージごとに異なる身体的、精神・心理的、社会的問題等に適切に対応することを目的として、様々な支援や緩和ケアを実践し、ライフステージに応じたがん対策を推進できる多職種の医療人材養成

求められる人材

- 「**ゲノム医療**」の実用化に向けて、ゲノム情報に基づくがんの個別化医療を実現するための基盤整備が課題であり、遺伝カウンセリング体制やゲノム研究の推進及びこれらに係る人材養成が必要とされています。
- 「**希少がん及び小児がん**」においては、専門医や医療機関等が不足していること、病理診断が困難であること、研究推進体制が不十分であることや、小児がん患者・家族に対する医療や支援の提供体制の強化が課題であり、専門医及びチーム医療を実践できる人材養成が必要とされています。
- 思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult: AYA世代）、壮年層、高齢者といったライフステージごとに異なるがん患者の身体的、精神・心理的、社会的問題等に適切に対応することが課題であり、様々な支援や緩和ケアを実践し、「**ライフステージに応じたがん対策**」を推進できる医療人材養成が必要とされています。

TF（タスクフォース）1 ゲノム・サイエンス の取組

◆ 主な取組内容



■ がんゲノム医療に習熟した「多職種がん専門医療人」の育成

「がんゲノム医療スキルアップセミナー」の開催

がんのゲノム医療を実用化するために、遺伝カウンセリング体制を確立するとともに、ゲノム情報に基づいた個別化医療を実践・支援できる多職種のがん専門医療人材を養成することを目的とし、年1回開催しています。

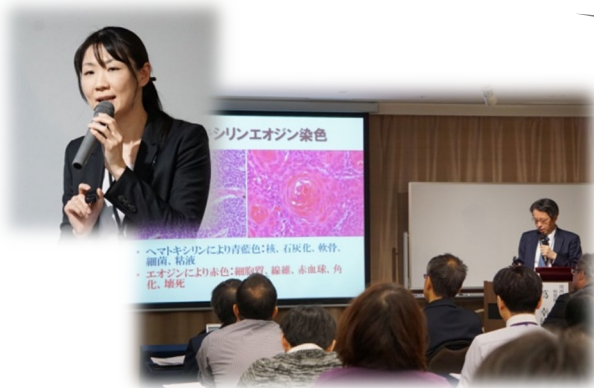
〈過去の開催内容〉

【第1回】2018年1月27日（土）開催 ※理工学部インテンシブ・コースと同時開催※

【第2回】2018年11月24日（土）開催 『がんの臨床シーケンスの実際』

【第3回】2020年3月21日（土）開催予定

『がんの遺伝子パネル検査元年！～遺伝子パネル検査導入後、臨床現場でのがんゲノム医療はどう変わるか？～』



☞ 参加者コメント（アンケートより） ☞

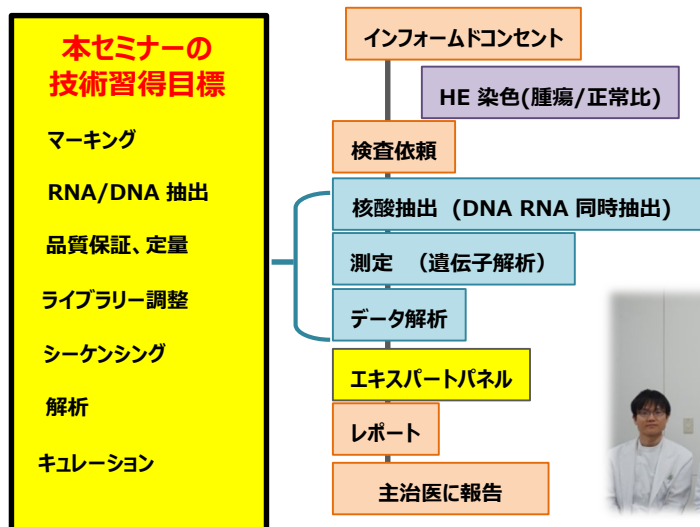
・難しい内容ではありましたが、大変勉強になりました。（臨床検査技師）

・がんゲノム医療について、各分野の先生方からまとまった講義を受けられる貴重な機会はほとんどないので、大変勉強になりました。（看護師）

■ エキスパートパネルを担うがんゲノム医療専門家の育成

がん臨床シーケンス ハンズオン・セミナーの開催

近大/市大/神戸大/関西医大/兵庫医大のがんプロ大学院生を対象に、腫瘍検体からの核酸抽出や次世代シーケンサーを用いた網羅的遺伝子解析を実践することを目的として、2019年度に初開催。今後も内容や参加職種等を検討し、開催する予定です。



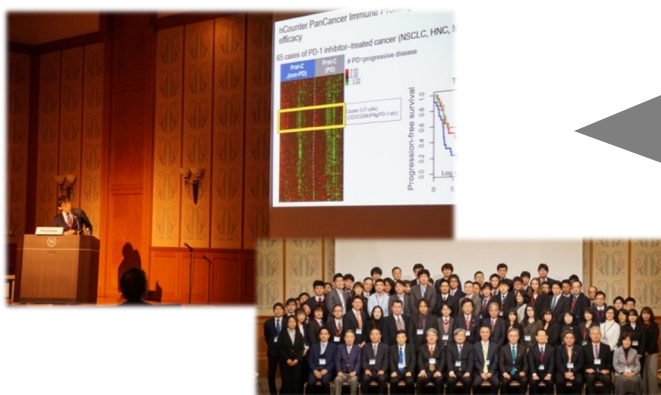
TF（タスクフォース）1 ゲノム・サイエンス の取組

■ グローバルな視点に基づいてがん研究を遂行できる「若手研究者」の育成 国際がん研究シンポジウムの開催

国際的なリーダーシップを発揮できる若手がん研究者の養成を目的とし、国内外の若手研究者の交流および研究成果の発表の機会として、『ゲノム医療』、『免疫療法』、『プレジジョン・メディシン』等をテーマに、2日間の日程でシンポジウム（口演・示説）を開催しています。近大拠点の大学院生・修了生等に加え、他の近畿圏のがんプロ拠点（京大や阪大）からも演者を募り、活発な意見交換を行っています。さらに、国内外のエキスパートを招聘し、がん研究に関する最新のトピックスについての教育講演も行っています。

〈過去の開催内容〉

- 【第1回】2018年3月10日（土）・11日（日）シェラトン都ホテル大阪にて開催
- 【第2回】2019年2月2日（土）・3日（日）シェラトン都ホテル大阪にて開催
- 【第3回】2020年2月15日（土）・16日（日）ホテルエルセラーン大阪にて開催予定



演者コメント

国際学会で発表することは、敷居が高いと感じますが、実際に経験してみないと得られないものもたくさんあります。「国際がん研究シンポジウム」ではネイティブ講師による事前レクチャーもあり、よい経験を積ませていただきました。（2014年度修了：第1回国際がん研究シンポジウムOral演者）

■ その他の教育活動

放射線療法講演会の開催

「放射線療法」における、タイムリーなトピックスをテーマとして、年1回開催。近大がんプロ以外の医療機関からも医師や放射線技師、看護師、医学物理士等が多く参加しています。

〈過去の開催内容〉

- 【第6回】2018年2月24日（土）
『安心・安全な放射線治療』
- 【第7回】2019年2月9日（土）
『放射線療法の新時代～放射線療法×免疫療法～』
- 【第8回】2020年2月8日（土）開催予定
『前立腺癌の治療の実践』



がん専門相談員のための人材育成セミナーの開催

患者・家族等に対して意思決定支援を行う「がん専門相談員」を対象に、「がんゲノム医療」についての基礎知識や最新の情報を提供し、専門的人材育成につなげることを目的として、大阪府とがんプロが共催してセミナーを開催しました。

【開催日時】2020年1月9日（木）14：00～
【開催場所】大阪府立大学 I-siteなんば

【主な内容】
がんゲノムの基礎知識、
遺伝子検査の実践、
「がんゲノム医療」の全体像と治療への応用
「がんゲノム医療」最前線で「がん専門相談員」の果たす役割、遺伝カウンセリングの実践

など

TF【タスクフォース】2 教育イノベーションの取組

◆主な取組内容

■ 個別化医療を実現するための革新的な教育プログラムの実施



新「共通特論Ⅰ・Ⅱ」の実施

本プランに参画する7大学9学部が開講する大学院コース *がん専門医養成コース *がん看護専門看護師養成コース *がん専門薬剤師養成コース *医学物理士養成コース *遺伝カウンセラー養成コースの に在籍する大学院生やインテンシブコース生等が一堂に集まり、がん診療に必要な基礎的な知識等を修得するための座学による教育プログラムです。7大学9学部の教員だけでなく、全国の大学や国立がん研究センター等から、臨床腫瘍学の様々な分野におけるエキスパートを講師として招聘し、豊富な経験と知見に基づいたハイレベルな講義を行っています。

新「共通特論Ⅰ」：臨床腫瘍学総論

ゲノム異常からみた発がんのメカニズム
～診断と治療への応用～
がん細胞の特徴とゲノムレベルでのシグナル伝達機構
腫瘍免疫の基礎と個別化治療に向けた臨床応用
個別化医療における臨床薬理
放射線治療の考え方と最近の進歩
個別化医療実践における医学物理
個別化医療における腫瘍病理学の基礎
がんの疫学と予防
生物統計学の基礎
がんゲノム医療に求められる臨床倫理
がん診療におけるチーム医療
がん臨床研究の種類と疫学統計の基礎
がんゲノム医療と家族性腫瘍
がんと老年医学
個別化医療に対応したコミュニケーションスキル

新「共通特論Ⅱ」：臨床腫瘍学各論

がんゲノム情報に基づく分子標的治療
がん緩和医療と高齢者総合評価
頭頸部腫瘍に対する個別化治療
高齢者を含む肺がんに対する個別化治療
食道がんと胃がんに対する個別化治療
高齢者を含む大腸がんに対する個別化治療
個別化医療に向けた肝・胆・膵の悪性腫瘍に対する治療
個別化医療を可能にする白血病治療
悪性リンパ腫の分類と治療
乳がんに対する個別化治療
小児腫瘍
AYA世代と希少がん（原発不明がん・骨・軟部腫瘍）
高齢者やAYA世代など、それぞれのライフステージに応じたサイコoncology
個別化医療における腫瘍の画像診断学
個別化医療に向けた婦人科腫瘍に対する治療



各分野の最前線で活躍中の方々を講師として迎え、がん医療に関する先進的な内容を学ぶことが出来ます。

受講生コメント

臓器別の各癌腫に対する標準的治療について学ぶだけでなく、臨床面においては進む高齢社会におけるがん診療の課題や患者コミュニケーションスキルなどの実践的な事項について、また総論においてもがんゲノム医療を見据えたがんの基礎から今後の研究の展望についてまで、幅広い内容をトップランナーの講師から講義を聴くことができ、非常に有意義であった。【医師】

多職種参加型症例検討演習の実施

有機的ながんチーム医療を実践するために、実際の治療を行ったがん患者を症例呈示して多職種によるカンファレンスを行い、各職種が担う役割を明確にし、患者ごとに異なる背景やライフステージに対応する職種横断的チーム医療を習得する演習です。年に1回～2回、連携大学合同で実施しています。



受講生コメント

入院主治医は、様々な背景、心理状態、疾患理解度を持つ患者とは治療導入時が初対面であることがほとんどであり、これらを理解する上で病棟看護師や薬剤師だけでなく、外来主治医や外来看護師との連携も深める必要があると思われた。（看護師）

TF（タスクフォース）2 教育イノベーションの取組

模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習の実施

がん患者とのコミュニケーションに関する問題点やオンコロジーチームの課題を各職種の立場から議論し、SP（模擬患者）を活用したロールプレイを行うことで、がん診療におけるチーム医療のあるべき姿を学習します。また、異なるライフステージのがん患者との良好なコミュニケーションを構築する上で必要とされるスキルが習得できます。

★スケジュール★

7大学9学部合同で年1回、2日間の集中講義と演習です。

【1日目】

- ・コミュニケーションやチーム医療に関する講義
- ・多職種によるグループ討論・全体討論
- 意思決定支援における各職種の役割

【2日目】

- ・多職種による模擬患者を活用したロールプレイ
- ・全体討論、2日間の演習の課題を討議



がん診療におけるコミュニケーションスキルの重要性を理解し、多職種の考え方や実際の仕事内容について理解を深めることが出来ます。

また、日常の実臨床では聞くことのできない医療職以外の方々からのご意見も聞くことが出来ます。

💬 受講生コメント（アンケートより） 💬

・普段かかわったことのない遺伝カウンセラーとも意見交換が出来、チーム医療の輪はますます広がり、その重要性が増していると感じた。

（医師）

・各職種の専門性を活かしながら、職種間でも表情や目標を共有することで、チームで患者に寄り添うことを実感した。（看護師）

・実際の外来診察の様子を見てもらって、評価や意見をもらえる機会が少ないので勉強になった。（医師）

■ キャリア養成・キャリア育成の支援

教育イノベーションセミナーの開催

より質の高い教育を学生に教授することを目的に、教員教育の場として本プランに参画する教員を対象に年1回開催しています。テーマによっては教員のみならず、医療従事者や大学院生にも門戸を広げ、学習の機会を設けています。

〈過去の開催内容〉

【2017年度】2017年12月1日（金）

『病院総合内科医 ホスピタリストとは？日本で発展させるには』

【2018年度】2018年12月14日（金）

『臨床コーチング～患者に寄り添う医療の実践～』

【2019年度】2019年11月1日（金）

『求められるコミュニケーションって？～診てもらいたいのはどっち？～』



グローバルFD研修の実施

7大学9学部から選考したがんプロ修了生や教員を対象に、多職種（5名程度）による海外研修を毎年実施しています。主な研修派遣機関は、米国のトーマス・ジェファーソン大学で、同大学独自のプログラムに沿ってがん診療体制、がん専門医療人養成方法や研修プログラム、さらには臨床試験の実施体制整備（倫理的内容やインフラなど）についての研修を受けています。

💬 参加者コメント 💬

フィラデルフィアの中心街にあり、診療や治療はもちろんだが研究にも熱心な施設であった。大規模なシミュレーションセンター見学や座学と臨床を交えた研修であり大変満足した。（診療放射線技師）



TF（タスクフォース）3マルチパートナーシップ・アライアンス の取組

◆ 主な取組内容



■ ライフステージに応じたがん対策を推進できる多職種の医療人材養成

多職種がん専門医療人の教育・キャリア形成支援セミナーの開催

〈過去の開催内容〉

- ・ Hematology/Medical Oncologyの第一人者であるアメリカ・テンプル大学・中島光先生を招聘しての「American Double Standards in Accepting Trial Results from Foreign Countries」と題した講演会（2017年度）
- ・ 地域薬剤師を対象とした「薬剤師のためのフィジカルアセスメント講習会」（2017-2018年度）
- ・ 病院・保健薬局薬剤師を対象とした「多職種でささえるがん薬物療法～院内・地域における連携強化をめざして～」をテーマとしたセミナー（2018年度）
- ・ 地域で働く看護師を対象とした「がん患者のライフステージにおける課題対応を志向した看護師養成コース（インテンシブ）」（2018-2019年度）
- ・ がん看護インテンシブコース「一歩前に出るがん看護～高齢がん患者と家族の治療と暮らしを支える看護力を高めよう～」（2018年度）
- ・ 医師、看護師、薬剤師、認定遺伝カウンセラーを演者とした「がんゲノム時代の個別化医療」をテーマとしたセミナー（2019年度）

参加者コメント（アンケートより）

- ・ 自分の職種以外の全体の動向が知れてよかった。
- ・ とてもわかりやすく今後の活動を考えるのに貴重な講演だった。



■ 小児がん患者・家族に対する医療や支援の提供体制の強化

兵庫地区小児がんサバイバーフォローアップネットワークの構築

小児がん患者・家族に対する医療や支援の提供体制の更なる強化に向けて、小児がんでのがんサバイバーフォローアップネットワークの構築に向けた検討を進めている。

〈過去の検討・実施内容〉

- ・ 小児科・内科等関連医師、行政担当者を対象とした「小児がん等サポート検討会」を開催（2017年度）
- ・ 小児がんサバイバーの成人診療科への移行体制の構築のため、患者さんに対してその趣旨を理解いただくことを目的とした患者会との打合せを開催（2018年度）
- ・ 専門病院および医師会との連携を進める必要から、がん診療病院の医師および医師会（開業医）を対象とした「小児がん治療・サバイバーの明日にむけて」と題した講演会を開催（2019年度）

TF (タスクフォース) 3マルチパートナーシップ・アライアンス の取組

■ 「がん緩和ケア・インテンシブコース」の推進

多職種がん専門医療人の教育・キャリア形成支援セミナーの開催

- ・ 目的：生命の危機に直面するがん患者と家族の諸問題を早期かつ適切に評価し、地域の医療者と連携して対応する能力を身につけ、緩和ケア領域の最新の治療とケアに精通し、地域の様々なライフステージの患者とその家族に対して適切なケアを提供できる人材を養成する。
- ・ 修了要件：参画7大学が指定する緩和ケアに関する研修会や講義等に3回以上、合計10時間以上参加（実習は希望者のみ）。



各大学の緩和ケアに関する講義・研修会が受講対象となり、自分のニーズに合った研修を選択できます。

💬 受講生コメント 💬

5大学で講義を受けました。勤務の合間に行くので、内容はいっぺん一貫性がないかもしれませんが、これまでの研修や実務での気付き・振り返りで自ら学び直す新たなステップアップになりました。また、指導教官からとくにアドバンス・ケア・プランニングについてご教授いただきました。ありがとうございました。

(2018年度修了・医師)

■ 地域医療機関、自治体・公的機関、がんサバイバーを含む患者会、NPOとの連携

【地域医療機関】

（毎回テーマを決めて講演・熱く討論を行う）Onco知新の会

[神戸大学, 2017-2019年度]

小児拠点病院である大阪母子医療センターと連携したがんサバイバー

[近畿大学医学部, 2017-2019年度]

地域薬剤師及び大学院生のがんの知識を深めるための生涯教育研修会

[近畿大学薬学部, 2017年度]

がん緩和療法/支持療法セミナー [関西医科大学, 2019年度]

がん患者地域連携のための多職種カンファレンス

[兵庫医科大学, 2019年度]

がん看護実践者養成セミナー [大阪府立大学, 2017-2019年度]

がんサバイバーの課題に応じた高度看護実践者育成コース

[神戸市看護大学, 2018年度] 等

各大学で地域医療機関や自治体・公的機関等と連携しセミナーや勉強会等を実施。

在学生や修了生も受講生として参加するだけでなく、講師として活躍しています。

また、近畿大学、神戸大学、兵庫医科大学の各附属病院は「がんゲノム医療拠点病院」に指定されており、地域での連携を深めたがんゲノム医療を推進しています。



【自治体・公的機関】

南大阪がん地域連携会(MOCCN) [近畿大学医学部, 2017-2019年度]

兵庫県がんピアサポーター養成研修会 [神戸大学, 2017年度] 等

【患者会】

がん患者のための運動によるリフレッシュセミナー [大阪市立大学, 2017-2019年度]

ひょうごがん患者連絡会との連携セミナー [神戸大学, 2018-2019年度] 等

大学別コース紹介／大学院コース（全28コース）

7大学9学部における医師・看護師・薬剤師・医学物理士・遺伝カウンセラーを
対象とした各種大学院コース

大学名	コース名称
近畿大学 医学部	・ 分子腫瘍内科学コース ・ 新ニーズ対応型造血管腫瘍・がん薬物療法専門医コース ・ 放射線腫瘍学先端研究者養成コース ・ 先端医学物理研究者養成コース ・ がん緩和医療専門医養成コース
近畿大学 薬学部	・ がん専門薬剤師養成コース（ライフステージ対応型）
近畿大学 理工学部	・ 遺伝カウンセラー養成課程
大阪市立大学	・ 小児がんに対応できる医療人材の養成コース ・ 多様なニーズに対応する血液専門医養成コース ・ 同種造血幹細胞移植指導医養成コース ・ 多様なニーズに対応するがん薬物療法専門医養成コース ・ 放射線腫瘍専門医養成コース ・ ゲノム医療に対応する革新的腫瘍外科専門医養成コース
神戸大学	・ がんプロフェッショナル養成プログラム （腫瘍・血液内科学）、（放射線腫瘍学） （先端緩和医療学）、（薬剤学）、（小児科学） ・ 医学物理スペシャリスト養成コース
関西医科大学	・ 地域がん医療発展型放射線腫瘍学コース ・ 地域がん医療発展型臨床腫瘍学コース ・ 地域医療密着型先進的がん治療学コース ・ 希少がん・小児がん挑戦型臨床腫瘍学コース
兵庫医科大学	・ 多様な医療ニーズに対応する医学物理学養成コース ・ 多様な医療ニーズに対応する先進的がん薬物療法養成コース ・ 多様な医療ニーズに対応する放射線腫瘍医養成コース
大阪府立大学	・ ライフステージにおける課題対応がん看護専門看護師養成コース
神戸市看護大学	・ がんサバイバー支援高度実践看護師養成コース

大学別コース紹介／インテンシブコース（全20コース）

地域の医療職者を対象とした、一定期間でがんの診断・治療・研究に必要な高度先進的な知識と技術の修得を目的とした研修コース

大学院の講義の受講や各大学病院での実習など、多彩な教育プログラムを用意しています。

大学名	コース名称
近畿大学 医学部	・ 分子腫瘍内科学コース ・ ゲノム医療に強い多職種がん専門医療人養成コース ・ 異なるライフステージのがん患者に寄り添える臨床研究コーディネーター養成コース ・ ゲノム医療対応多職種養成コース ・ がん免疫医療対応多職種養成コース
近畿大学 理工学部	・ 遺伝カウンセリングに強い多職種がん専門医療人養成コース
大阪市立大学	・ 多様なニーズに対応する、がん専門医療人養成インテンシブコース ・ 多様なニーズに対応する、地域中核病院専門医療職養成インテンシブコース
神戸大学	・ がん薬物療法インテンシブコース ・ がん放射線療法インテンシブコース ・ がん緩和ケア・インテンシブコース ・ がんリハビリテーションインテンシブコース ・ がん薬剤師インテンシブコース
兵庫医科大学	・ 多様な医療ニーズに対応する緩和ケアインテンシブコース ・ 多様な医療ニーズに対応するがん放射線治療インテンシブコース ・ 多様な医療ニーズに対応するがん薬物療法インテンシブコース
大阪府立大学	・ がん患者のライフステージにおける課題対応を志向した看護師養成コース ・ がん医療に強い専門看護師養成コース
神戸市看護大学	・ がんサバイバーの課題に応じた高度がん看護実践者育成コース ・ 地域がん看護実践者育成コース

◆各コースの内容の詳細は7大学連携個別化がん医療実践者養成プランHPに掲載
 <https://www.med.kindai.ac.jp/ganpro/education1.html>

ホームページ・Facebookなど各種ご案内

大学院やインテンシブコースの詳しい情報や、どなたでもご参加いただけるセミナーやシンポジウムも開催しております。開催が決まれば、随時ホームページやFacebookに掲載しますので、ぜひご参加ください。



<http://www.med.kindai.ac.jp/ganpro/>



<https://www.facebook.com/Ganpro.Seven.University.Joint.Project/>



7大学全体の取り組み以外に、各大学でもセミナー・講演会等を開催しています！

お問い合わせ

■ 近畿大学医学部（拠点校）

〒589-8511 大阪狭山市大野東377-2
TEL : 072-366-0221（内線3348・5813）
e-mail : ganpro@med.kindai.ac.jp
<https://www.med.kindai.ac.jp/ganpro/>

□ 近畿大学薬学部

〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1
TEL : 06-4307-3058
e-mail : kinyaku_ganpro@phar.kindai.ac.jp
<https://www.phar.kindai.ac.jp/cancerpro/>

□ 近畿大学理工学部

〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1
TEL : 06-4307-3438
e-mail : ganpro-gcc@life.kindai.ac.jp
<http://iden.gene.kindai.ac.jp/~ganpro/>

□ 大阪市立大学

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
TEL : 06-6645-3794
e-mail : ganpro@med.osaka-cu.ac.jp
<http://ocuganpro.umin.jp/>

□ 神戸大学

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1
TEL : 078-382-5370
e-mail : ganpro-kobe@med.kobe-u.ac.jp
<http://www.med.kobe-u.ac.jp/ganpro/>

□ 関西医科大学

〒573-1010 枚方市新町2-5-1
TEL : 072-804-1010
e-mail : ganpro@hirakata.kmu.ac.jp
<http://www7.kmu.ac.jp/ganpro/>

□ 兵庫医科大学

〒663-8501 西宮市武庫川町1-1
TEL : 0789-45-6163
e-mail : ganpro@hyo-med.ac.jp
http://www.hyomed.ac.jp/faculty/graduate_college/cancer_professional.html

□ 大阪府立大学

〒583-8555 羽曳野市はびきの3-7-30
TEL : 072-950-2815
e-mail : ganpro@nursing.osakafu-u.ac.jp
http://www.nursing.osakafu-u.ac.jp/project/cancer_pro/

□ 神戸市看護大学

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4
TEL : 078-794-8080
<http://www.kobe-ccn.ac.jp/ganpro/>

